

厚生労働大臣 殿

秋田大学医学部附属病院長
溝井和

秋田大学医学部附属病院の特定機能病院の業務に関する報告について

標記について、医療法第12条の3の規定に基づき、平成18年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	12 人
--------	------

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法 → 別紙参照(様式第12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績 → 別紙参照(様式第13)
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績 → 別紙参照(様式第13)
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	162人	74人	236.0人	看護業務補助	15人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	4人	5人	9.0人	理学療法士	2人	臨床検査 衛生検査	臨床検査技師 37人
薬剤師	19人	4人	23.0人	作業療法士	1人		衛生検査技師 0人
保健師	0人	0人	0.0人	視能訓練士	0人		その他 1人
助産師	20人	0人	20.0人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看護師	361人	21人	378.5人	臨床工学技士	3人	医療社会事業従事者	2人
准看護師	2人	5人	5.7人	栄養士	0人	その他の技術員	8人
歯科衛生士	0人	1人	1.0人	歯科技工士	2人	事務職員	101人
管理栄養士	4人	0人	4.0人	診療放射線技師	22人	その他の職員	13人

- 8 入院患者、外来患者及び調剤の数
 歯科、矯正歯科及び小児歯科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	497.6人	8.4人	506.0人
1日当たり平均外来患者数	943.6人	51.2人	994.8人
1日当たり平均調剤数			998.6剤

高度の医療の提供の実績

1 高度先進医療の承認の有無及び取扱い患者数









高度先進医療の種類(医科)	承認	取扱い患者数
・顔面骨又は頭蓋骨の観血的移動術	有・無	人
・培養細胞による先天性代謝異常診断	有・無	人
・溶血性貧血症の病因解析及び遺伝子解析診断法	有・無	人
・経皮的埋め込み電極を用いた機能的電子刺激療法	有・無	人
・人工括約筋を用いた尿失禁の治療	有・無	人
・人工中耳	有・無	人
・実物大臓器立体モデルによる手術計画	有・無	人
・性腺機能不全の早期診断法	有・無	人
・経皮的レーザー椎間板切除術(内視鏡下を含む)	有・無	人
・造血器腫瘍細胞における薬剤耐性遺伝子産物P糖蛋白の測定	有・無	人
・スキンドファイバー法による悪性高熱症診断法	有・無	人
・血小板膜糖蛋白異常症の病型及び病因診断	有・無	人
・焦点式高エネルギー超音波療法	有・無	人
・オープンMRを用いた腰椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによる経皮的椎間板減圧術	有・無	人
・肺腫瘍のCTガイド下気管支鏡検査	有・無	人
・先天性血液凝固異常症の遺伝子診断	有・無	人
・筋緊張性ジストロフィーのDNA診断	有・無	人
・SDI法による抗がん剤感受性試験	有・無	人
・内視鏡下頸部良性腫瘍摘出術	有・無	人
・栄養障害型表皮水疱症のDNA診断	有・無	人
・家族性アミロイドーシスのDNA診断	有・無	人
・三次元形状解析による顔面の形態的診断	有・無	人
・マス・スペクトロメリーによる家族性アミロイドーシスの診断	有・無	人
・抗がん剤感受性試験	有・無	人
・子宮頸部前がん病変のHPV-DNA診断	有・無	人
・不整脈疾患における遺伝子診断	有・無	人
・腹腔鏡下肝切除術	有・無	人
・画像支援ナビゲーション手術	有・無	人
・悪性腫瘍に対する粒子線治療	有・無	人
・エキシマレーザーによる治療的角膜切除術	有・無	人
・成長障害のDNA診断	有・無	人
・生体部分肺移植術	有・無	人
・門脈圧亢進症に対する経頸静脈肝内門脈大循環短絡術	有・無	人
・乳房温存療法における鏡視下腋窩郭清術	有・無	人
・悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の遺伝子診断	有・無	人
・腫瘍性骨病変及び骨粗鬆症に伴う骨脆弱性病変に対する経皮的骨形成術	有・無	人
・声帯内自家側頭筋膜移植術	有・無	人
・骨髓細胞移植による血管新生療法	有・無	人
・ミトコンドリア病のDNA診断	有・無	人
・悪性黒色腫又は乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	有・無	人
・鏡視下肩峰下腔徐圧術	有・無	人

高度先進医療の種類(医科)	承認	取扱い患者数
・神経変性疾患のDNA診断	有・無	人
・脊髄性筋萎縮症のDNA診断	有・無	人
・難治性眼疾患に対する羊膜移植術	有・無	人
・固形がんに対する重粒子線治療	有・無	人
・脊椎腫瘍に対する腫瘍脊椎骨全摘術	有・無	人
・カフェイン併用化学療法	有・無	人
・31P-磁気共鳴スペクトロスコピーとケミカルシフト画像による糖尿病性足病変の非侵襲的診断	有・無	人
・特発性男性不妊症又は性腺機能不全症の遺伝子診断	有・無	人
・胎児尿路・羊水腔シャント術	有・無	人
・遺伝性コプロポルフィン症のDNA診断	有・無	人
・固形腫瘍(神経芽腫)のRNA診断	有・無	人
・硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療	有・無	人
・重症BCG副反応症例における遺伝子診断	有・無	人
・自家液体窒素処理骨による骨軟部腫瘍切除後骨欠損の再建	有・無	人
・膵腫瘍に対する腹腔鏡補助下膵切除術	有・無	人
・低悪性度非ホジキンリンパ腫の遺伝子診断	有・無	人
・悪性脳腫瘍に対する抗がん剤治療における薬剤耐性遺伝子解析	有・無	人
・高発がん性遺伝性皮膚疾患のDNA診断	有・無	人
・筋過緊張に対するmuscle afferent block(MAB)治療	有・無	人
・Q熱診断における血清抗体価測定及び病原体遺伝子診断	有・無	人
・エキシマレーザー冠動脈形成術	有・無	人
・活性化Tリンパ球移入療法	有・無	人
・抗がん剤感受性試験(CD-DST法)	有・無	人
・胸部悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	有・無	人
・家族性アルツハイマー病の遺伝子診断	有・無	人
・腎悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	有・無	人
・膀胱尿管逆流症に対する腹腔鏡下逆流防止術	有・無	人
・中枢神経白質形成異常症の遺伝子診断	有・無	人
・三次元再構築画像による股関節疾患の診断と治療	有・無	人
・樹状細胞及び腫瘍抗原ペプチドを用いたがんワクチン療法	有・無	人
・内視鏡下甲状腺がん手術	有・無	人
・骨腫瘍のCT透視ガイド下経皮的ラジオ波焼灼療法	有・無	人
・泌尿生殖器腫瘍の後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術	有・無	人
・HLA抗原不一致血縁ドナーからのCD34陽性造血幹細胞移植	有・無	人
・下肢静脈瘤に対する血管内レーザー治療法	有・無	人
・頸椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによる経皮的椎間板減圧術(CT透視下法)	有・無	人
・胎児胸腔・羊水腔シャントチューブ留置術	有・無	人
・活性化血小板の検出	有・無	人
・早期胃がんに対する腹腔鏡下センチネルリンパ節検索	有・無	人
・ケラチン病の遺伝子診断	有・無	人
・隆起性皮膚線維肉腫の遺伝子診断	有・無	人
・末梢血幹細胞(CD34陽性細胞に限る。)による血管再生治療	有・無	人
・末梢血単核球移植による血管再生治療	有・無	人

高度先進医療の種類(医科)	承認	取扱い患者数
・副甲状腺内活性型ビタミンD(アナログ)直接注入療法	有・	人
・グルタミン受容体自己抗体による自己免疫性神経疾患の診断	有・	人
・腹腔鏡下広汎子宮全摘出術	有・	人
・一絨毛膜性双胎妊娠において発症した双胎間輸血症候群に対する内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術	有・	人
・自己腫瘍(組織)を用いた活性化自己リンパ球移入療法	有・	人
・自己腫瘍(組織)及び樹状細胞を用いた活性化自己リンパ球移入療法	有・	人

高度先進医療の種類(歯科)	承認	取扱い患者数
・インプラント義歯	・無	3人
・顎顔面補綴	有・	人
・顎関節症の補綴学的治療	有・	人
・歯周組織再生誘導法	有・	人
・接着ブリッジによる欠損補綴並びに動揺歯固定	有・	人
・光学印象採得による陶材歯冠修復法	有・	人
・エックス線透視下非視血的唾石摘出術	有・	人
・レーザー応用による齶蝕除去・スケーリングの無痛療法	有・	人
・顎関節鏡視下レーザー手術併用による円板縫合固定術	有・	人
・顎関節脱臼内視鏡下手術	有・	人
・耳鼻いんこう科領域の機能障害を伴った顎関節症に対する中耳伝音系を指標とした顎位決定法	有・	人

先進医療の種類	承認	取扱い患者数
高周波切除器を用いた子宮腺筋症核出術	有・	人
自動吻合器を用いた直腸粘膜脱又は内痔核手術(PPH)	有・	人
画像支援ナビゲーションによる膝靭帯再建手術	有・	人
凍結保存同種組織を用いた外科治療	有・	人
強度変調放射線治療	有・	人
胎児心超音波検査	有・	人
内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術	有・	人
画像支援ナビゲーションによる内視鏡下鼻内副鼻腔手術	有・	人
インプラント義歯	有・	人
顎顔面補綴	有・	人
人工中耳	有・	人
歯周組織再生誘導法	有・	人
抗がん剤感受性試験	有・	人
腹腔鏡下肝切除術	有・	人
生体部分肺移植術	有・	人
活性化血小板の検出	有・	人
末梢血幹細胞による血管再生治療	有・	人

先進医療の種類	承認	取扱い患者数
カラー蛍光観察システム下気管支鏡検査及び光線力学療法	有・ 	人
先天性銅代謝異常症の遺伝子診断	有・ 	人
超音波骨折治療法	有・ 	人
眼底三次元画像解析	有・ 	人
CYP2C19遺伝子多型検査に基づくテーラーメイドのヘリコバクター・ピロリ除菌療法	有・ 	人
非生体ドナーから採取された同種骨・靱帯組織の凍結保存	有・ 	人
X線CT診断装置及び手術用顕微鏡を用いた歯根端切除手術	有・ 	人
定量的CTを用いた有限要素法による骨強度予測評価	有・ 	人

(注) 1 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

2 高度先進医療で上の表に掲げられていないものを行っている場合は、空欄の部分に記入すること。

3 先進医療で上の表に掲げているものは、今年度の業務に関する報告の対象ではないが来年度以降の参考のため記入すること。

2 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱い患者数	疾患名	取扱い患者数
・ベーチェット病	55人	・モヤモヤ病（ウィリス動脈輪閉塞症）	18人
・多発性硬化症	51人	・ウェゲナー肉芽腫症	8人
・重症筋無力症	41人	・特発性拡張型（うっ血型）心筋症	18人
・全身性エリテマトーデス	158人	・多系統萎縮症	24人
・スモン	1人	・表皮水疱症（接合部型及び栄養障害型）	0人
・再生不良性貧血	22人	・膿疱性乾癬	6人
・サルコイドーシス	59人	・広範脊柱狭窄症	1人
・筋萎縮性側索硬化症	39人	・原発性胆汁性肝硬変	23人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	83人	・重症急性膵炎	4人
・特発性血小板減少性紫斑病	51人	・特発性大腿骨頭壊死症	39人
・結節性動脈周囲炎	15人	・混合性結合組織病	22人
・潰瘍性大腸炎	128人	・原発性免疫不全症候群	5人
・大動脈炎症候群	18人	・特発性間質性肺炎	3人
・ピュルガー病	20人	・網膜色素変性症	20人
・天疱瘡	22人	・プリオン病	2人
・脊髄小脳変性症	40人	・原発性肺高血圧症	2人
・クローン病	60人	・神経繊維腫症	16人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	7人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・悪性関節リウマチ	15人	・バット・キアリ（Budd-Chiari）症候群	0人
・パーキンソン病関連疾患	68人	・特発性慢性肺血栓栓症（肺高血圧型）	0人
・アミロイドーシス	3人	・ライソゾーム病（ファブリー [Fabry] 病）含む	2人
・後縦靭帯骨化症	29人	・副腎白質ジストロフィー	2人
・ハンチントン病	1人	合計	1201人

3 病院・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 ② 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。			
臨床部門が病理診断部門あるいは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	約8回/月			
剖検の状況	剖検症例数	38例	剖検率	15.8%

高度の医療技術の開発及び評価の実績

研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
スギヒラタケ関連脳症における3ニトロプロピオン酸の検討	和田 千鶴	第一内科	2,000,000	補委 文部科学省
消化器発癌における脂質と酸化ストレスの役割の解明 遺伝子改変動物モデルを用いて	渡辺 純夫	第一内科	8,400,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
MEK-E RKシグナルの抗癌剤低抗性に関する解析-分子標的治療応用への基礎的検討	大高 道郎	第一内科	1,200,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
オートファジーは肝臓の炎症、線維化、発癌に関与する-動物モデルによる検討	堀江 康夫	第一内科	1,800,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
非アルコール性脂肪肝炎の病態の究明 (酸化ストレスとミトコンドリアの関与を中心に)	大嶋 重敏	第一内科	1,800,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
ジストニアの疫学、病態、治療に関する研究 (分担研究課題名) ジストニアの疫学、治療に関する研究	豊島 至	第一内科	700,000	補委 国立精神・神経 センター
血管リモデリングの新たな治療標的としてのCa活性化Kチャンネルとその発現調節機構	長谷川仁志	第二内科	500,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
ストア作動性Ca ²⁺ チャンネルによる心筋細胞肥大の制御	渡邊 博之	第二内科	2,000,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
虚血性心疾患における心電図同期SPECT (QGS) 検査に関する国内臨床データベース作成のための調査研究-2 2型糖尿病患者における無症候性心筋虚血の評価	伊藤 宏	第二内科	157,500	補委 財団法人 循環器病研究 振興財団
ヒト赤芽球の脱核機序に関する研究	澤田 賢一	第三内科	700,000	補委 文部科学省
微小変異型ネフローゼ症候群症例の発症・再発時に高発現する末梢血単核球内の遺伝子群	小松田 敦	第三内科	1,000,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
糸球体濾過バリアー構成分子アクチニン4と相互作用する因子と情報伝達における意義	涌井 秀樹	第三内科	1,400,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
悪性リンパ腫における発癌、増殖機構の解析	亀岡 吉弘	第三内科	1,240,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
テラヘルツ分光測定法による癌細胞ムチン糖タンパク質サブタイプ検出に向けた基礎研究	久米 真	第一外科	2,300,000	補委 文部科学省
自己完結型胚ベータ細胞移植システム創生への試み	山本 雄造	第一外科	2,700,000	補委 文部科学省
テラヘルツ波を利用した新しい光線力学療法の検討	市原 利晃	第一外科	1,400,000	補委 文部科学省
肝星細胞活性抑制による虚血再灌流時における類洞障害制御機構の確立	吉岡 政人	第一外科	1,800,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
類洞微小循環改善によるグラフト肝のviability向上に関する研究	宮澤 秀彰	第一外科	2,300,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
拡大肝切除の安全性向上を目指した細胞内シグナルの人為的修飾に関する研究	打波 宇	第一外科	1,600,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会

小計 19

(様式第11)

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
ATP-sensitive K channelの外的修飾による肝細胞保護	柴田 聡	第一外科	1,700,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
センチネルリンパ節を応用した新しい肺癌化学療法の研究	小川 純一	第二外科	1,600,000	補委 文部科学省
転移性肺腫瘍に対する感温性磁性体を用いた誘導加熱による低侵襲的温熱療法の研究	小川 純一	第二外科	7,900,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
アンチトロンピンIIIの受容体としてのシンデカン4コア蛋白の解析	南谷 佳弘	第二外科	8,000,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
輸血が癌増殖に及ぼす影響。特に可溶性MHC class Iの関与についての研究	丸山 起誉幸	第二外科	1,600,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
bFGF除去・口腔粘膜細胞・吸収性足場およびステントからなる人工食道に関する研究	本山 悟	第二外科	2,100,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
肺癌のリンパ節転移におけるTGF-βの役割に関する研究	河合 秀樹	第二外科	2,900,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
急性炎症時好中球血管外遊走における血管内皮細胞内VASPの役割に関する研究	斎藤 元	第二外科	1,500,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
テラヘルツ波イメージングによる乳癌センチネルリンパ節微小転移補助診断に関する研究	片寄 喜久	第二外科	1,300,000	補委 文部科学省
電磁誘導を利用した大動脈血流発電による永久埋込型ペースメーカージェネレーター開発	成田 卓也	心臓血管外科	700,000	補委 文部科学省
先天性心疾患における細胞成熟度と虚血耐性	山本 浩史	心臓血管外科	800,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
術後冠状動脈造影に基づいたバイパスグラフトの選択と使用法に関するガイドライン作成のための日米多施設共同研究	山本 文雄	心臓血管外科	600,000	補委 国立循環器病センター
輸血製剤への電子タグ応用可能性に関する研究	近藤 克幸	医療情報部	3,100,000	補委 文部科学省
脳機能・代謝画像と実時間超音波計測を統合した画像誘導手術法の開発	溝井 和夫	脳神経外科	2,400,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
アンジオテンシン受容体制御による虚血性神経細胞死抑制のメカニズムに関する研究	菅原 卓	脳神経外科	2,200,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
脊髄損傷後の運動ニューロン死における酸化ストレスとアポトーシスの関与	鈴木 明	脳神経外科	1,800,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
成長期広範小腸切除後の消化管運動機能におよぼすアルギニンの効果	蛇口 達造	小児外科	1,200,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
成長障害におけるゲノム刷り込み異常の解析とその臨床応用	高橋 郁子	小児科	1,500,000	補委 文部科学省
小児病態におけるスフィンゴミエリン・セラミドサイクルの研究	高橋 勉	小児科	1,800,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
重症心身障害児(者)の病因・病態解明、治療・療育および施設のあり方に関する研究(分担研究課題) 基礎疾患研究-小児期発症脳変性疾患の遺伝子診断	澤石 由記夫	小児科	1,000,000	補委 国立精神・神経センター
着床前期胚における甲状腺刺激ホルモンの直接作用に関する検討	河村 和弘	産科婦人科	500,000	補委 文部科学省

小計 21

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
新規卵子成熟誘導因子の同定とその臨床応用	田中 俊誠	産科婦人科	11,100,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
アネキシンVによる新しい血小板活性化測定法の開発と臨床への応用	佐藤 宏和	産科婦人科	2,600,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
秋田県不妊専門相談センター事業	田中 俊誠	産科婦人科	1,888,000	補委 秋田県
ベンゾジアゼピン系薬物による放熱反応と高齢者の低体温に関する研究	越前屋 勝	神経科精神科	1,400,000	補委 文部科学省
生活スタイルへの不適応と随伴精神身体症状及びその背景にある多様な未梢時計同調不全	三島 和夫	神経科精神科	5,900,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
睡眠障害医療における政策医療ネットワーク構築のための医療機関連携のガイドライン作成に関する研究班(分担研究課題名)研究の総括、成果の公表	清水 徹男	神経科精神科	600,000	補委 国立精神・神経 センター
睡眠障害医療における政策医療ネットワーク構築のための医療機関連携のガイドライン作成に関する研究班(分担研究課題名)ナルコレプシー特発性過眠症の標準検査・診断・治療ガイドラインに関する研究	神林 崇	神経科精神科	600,000	補委 国立精神・神経 センター
超音波とニューキノロン系抗菌剤併用による抗腫瘍効果のin vivoでの検討	永澤 博幸	整形外科	1,200,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
超音波による軟部肉腫の治療:アクリジンオレンジを音響感受性物質として	岡田 恭司	整形外科	1,500,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
収束超音波による軟部肉腫の治療	田澤 浩	整形外科	1,700,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
毛包バルジ領域ニッチのリモデリングにおける骨髄幹細胞システムの運命決定機構	梅林 芳弘	皮膚科	1,600,000	補委 文部科学省
角化細胞特異性PTEN欠損マウスの多段階発癌過程における遺伝子発現の網羅的解析	井上 多恵	皮膚科	1,700,000	補委 文部科学省
腫瘍関連PI3Kの選択的遮断を基盤とする扁平上皮癌に対する分子標的治療法の創生	眞鍋 求	皮膚科	1,800,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
生体吸収素材ゲルを用いた無縫合法(貼り付けのみ)による勃起神経再生治療の開発	松浦 忍	泌尿器科	1,900,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
PLK-1 siRNAを用いたあたらしい膀胱癌治療法の開発	湯浅 健	泌尿器科	1,400,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
毛様動脈血管平滑筋に対する神経ペプチドの効果についての薬理学的研究	吉富 健志	眼科学	1,800,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
鼻アレルギーにおけるPPAR γ の炎症抑制作用についての検討	本田 耕平	耳鼻咽喉科	600,000	補委 文部科学省
頭頸部癌扁平上皮癌根治治療後のTS-1補助化学療法法の検討	石川 和夫	耳鼻咽喉科	409,500	補委 財団法人 先端医療振興財団
カテコールアミン過剰状態における高二酸化炭素症の影響に関する研究	佐藤 美浩	麻酔科	700,000	補委 文部科学省
虚血性脳障害における α 2アドレナリン受容体作動薬と低体温併用による保護作用の研究	佐藤 浩司	麻酔科	1,800,000	補委 文部科学省

小計 2.0

(様式第11)

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
虚血性脳障害におけるβアドレナリン受容体遮断薬の保護効果に関する研究	合谷木 徹	麻酔科	700,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
虚血性脳傷害におけるRhoキナーゼ阻害薬の効果および他薬との併用効果	西川 俊昭	麻酔科	1,700,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
不死化歯由来細胞株と生体内吸収性材料を用いた歯の再生医療用スキャフォールドの開発	宮本 洋二	歯科口腔外科	1,400,000	補委 文部科学省
滑膜細胞が顎関節症における骨・軟骨の破壊および修復に果たす役割の解明	岩波 洋一	歯科口腔外科	1,900,000	補委 文部科学省
不死化エナメル芽細胞株を用いた歯の再生医療に関する基礎的研究	中田 憲	歯科口腔外科	2,300,000	補委 文部科学省
骨置換性カーボネイトアパタイトによる顎骨再建と骨再生用スキャフォールドへの応用	宮本 洋二	歯科口腔外科	8,700,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
顎関節造影MRIと滑液・滑膜分析を用いた顎関節内障の病態解明に関する研究	福田 雅幸	歯科口腔外科	700,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
ヒト顎関節滑膜細胞株を用いたストレスシグナル伝達経路の解析と遺伝子治療への応用	永井 宏和	歯科口腔外科	1,400,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
機械的圧縮ストレスがヒト顎関節滑膜細胞へ及ぼす骨代謝作用における分子生物学的解析	高野 裕史	歯科口腔外科	1,800,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
電子タグの医療事故防止システムへの応用に関する研究	近藤 克幸	医療情報部	3,900,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
トレーニングによる全身諸臓器毛細血管活性化の基礎的研究	南條 博	病理部	1,500,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
センチネルノード同定のための磁気音響型センサの開発に関する研究	片寄 喜久	腫瘍センター	8,400,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
がん治療に関する調査研究	病院長		15,465,000	補委 秋田県

小計 13

合計 73

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Gut 55, 744-745. (2006)	Infliximab as a treatment for systemic amyloidosis associated with Crohn's disease.	飯塚 政弘	内科学講座 消化器内科学分野
Gut 55, 1523. (2006)	Efficacy of ecabet sodium enema on steroid-resistant or steroid-dependent ulcerative colitis.	飯塚 政弘	内科学講座 消化器内科学分野
Cytokine 33, 28-35. (2006)	Suramin prevents fulminant hepatic failure resulting in reduction of lethality through the suppression of NF- κ B activity.	後藤 隆	内科学講座 消化器内科学分野
Am J Transplant 6, 2512-2515. (2006)	Iatrogenic Amyloid Neuropathy in a Japanese Patient After Sequential Liver Transplantation	後藤 隆	内科学講座 消化器内科学分野
Biochem Biophys Res Commun 347, 949-954. (2006)	A selective adenosine A2A receptor agonist, ATL-146e, prevents concanavalin A-induced acute liver injury in mice.	小田島 傑	内科学講座 消化器内科学分野
World J Gastroenterol 12, 568-573. (2006)	Attenuation of gastric mucosal inflammation induced by aspirin through activation of the A2A adenosine receptor in rats.	小田島 傑	内科学講座 消化器内科学分野
Biochem Biophys Res Commun 346, 339-344. (2006)	Specific type IV phosphodiesterase inhibitor ameliorates cerulein-induced pancreatitis in rats.	佐藤 亘	内科学講座 消化器内科学分野
J Mol Cell Cardiol. 42:498-507, 2007	Up-regulation of TRPC1 in the Development of Cardiac Hypertrophy.	Ohba, T. et. al	第二内科

Internal Med. 46 (6) :285-9, 2007		Successful outcome in a pregnant woman with isolated noncompaction of the left ventricular myocardium.	Munehisa Y, et. al	第二内科
Biochem Biophys Res Com. 351:764-70, 2006		Regulatory role of neuron-restrictive silencing factor in the expression of TRPC1.	Ohba, T. et. al	第二内科
Life Sciences. 29:1380-1390, 2006		HMG-CoA Reductase Inhibitor Fluvastatin Prevents Angiotensin II-Induced Cardiac Hypertrophy via Rho Kinase and Inhibition of Cyclin D1.	Morikawa K, et. al	第二内科
Int J Hematol 3 : 181-182. (2006)	8	Vaginal outflow tract obstruction associated with chronic graft-versus-host disease following allogeneic peripheral blood stem cell transplantation.	Hirokawa, M. et al	第三内科
Ren Fail 8:223-227. (2006)	2	Analysis of mutations in the urate transporter 1 (URAT1) gene of Japanese patients with hypouricemia in Northern Japan and review of the literature.	Komatsuda, A. et al	第三内科
Tohoku J Exp Med 209 : 61-67. (2006)		Successful autologous peripheral blood stem cell transplantation using thiotepa in a patient with systemic sclerosis and cardiac involvement.	Komatsuda, A. et al	第三内科
Clin Nephrol 5: 364-369. (2006)	6	Analysis of the NPHP genes in two Japanese patients with suspected sporadic juvenile or adolescent nephronophthisis.	Komatsuda, A. et al	第三内科
Clin Nephrol 6 : 315-321. (2006)	6	Increased serum levels of S100A12 in patients with MPO-ANCA-associated glomerulonephritis.	Komatsuda, A. et al	第三内科

小計 8

Clin Exp Nephrol 10 : 140-145. (2006)		Nodular mesangial lesions, marked mesangioly- s, and fingerprint deposits of unknown origin in a patient with nephrotic syndrome : a unique combination of glomerular lesions.	Ohtani, H. et al	第三内科
Int J Hematol 4 : 445-448. (2006)	8	Late-onset fatal epstein-barr virus-associated hemophagocytic syndrome following cord blood cell transplantaion for adult acute lymphoblas- tic leukemia.	Kawabata, Y . et al	第三内科
Hematologica : 9-12. (2006)	91	Oligoclonal T cell expansion in blood but not in the thymus from a patient with thymoma-asso- ciated pure red cell aplasia.	Fujishiana, N. et al	第三内科
Intern Med 5 : 963-996. (2006)	4	Adrenal insufficiency complicated with antipho- spholipid syndrome (APS).	Fujishima, N. et al	第三内科
Blood 07: 1366-1374. (2006)	1	Phagocytosis of co-developing megakaryocytic p- rogenitors by dendritic cells in culture with thrombopoietin and tumor necrosis factor-(alph- a) and its possible role in hemophagocytic syn- drome.	Saito, K. et al	第三内科
Int J Hematol 3 : 55-62. (2006)	8	A phase II study of VEPA/FEPP chemotherapy for aggressive lymphoma in elderly patients: Japa- n clinical oncology group study JCOG9203.	Mizoroki. F . et al	第三内科
J Immunol 6 : 5637-5643. (2006)	17	Tumor-derived TGF β -1 induces dendritic cell a- poptois in the sentinel lymph node.	Ito, M. et al	第三内科
Hepatol Res 4 : 273-281. (2006)	3	Decreased renal expressions of heat shock prot- ein-72 and -25 are associated with renal dysfu- nction in biliary cirrhotic rats.	Endoh, A. et al	第三内科

小計 8

臨床血液 478 (8) 770-776. (2006)	テトラソミー8を認めた急性単球性白血病,	亀岡淳一 et al	第三内科
Renal Failure 29:183-187 (2007)	Differences between myeloperoxidase-specific and -nonspecific P-ANCA-associated renal disease.	Ohtani H. et al	第三内科
Diabetes Care; 29:142-144, 2006	Increased urinary excretions of immunoglobulin g, ceruloplasmin, and transferrin predict development of microalbuminuria in patients with type 2 diabetes.	Narita T, Hosoba M, Kakei M,	老年科
Endocr J; 53:745-752, 2006	Possible relationship between adiponectin and renal tubular injury in diabetic nephropathy.	Fujita H, Morii T, Koshimura J,	老年科
Diabetes; 55(supple 2):S86-S91, 2006	Pancreatic and extrapancreatic effects of gastric inhibitory polypeptide.	Yamada Y	老年科
J Surg Res 136:209-218, 2006.	Dynamic changes of post-Ischemic hepatic microcirculation improved by a pre-treatment of phosphodiesterase-3 inhibitor, milrinone.	Kume M, Banafsche R, Yamamoto Y,	第一外科
Liver Transplantation 13:114-121, 2007.	Impact of Polysol, a newly developed preservation solution, on cold storage of steatotic rat livers.	Hata K, Tolba R, Yamamoto Y,	第一外科
World J Gastroenterol 13:970-972, 2007.	Stent placement is effective on both postoperative hepatic arterial pseudoaneurysm and subsequent portal vein stricture: A case report.	Ichihara T, Sato T, Yamamoto Y	第一外科

Am J Roentgenol 18 8:W323-W327, 2007	CT features of pancreatic fistula after pancreaticoduodenectomy.	Hashimoto M, Koga M, Sato T, Yamamoto Y.	第一外科
Akita J Med 33:229- 231,2007	Delayed abscess in a femoral hernial sac secondary to diffuse peritonitis: report of a case.	Sakata A, Kato T, Kume M, Yamamoto Y	第一外科
日 外 科 連 会 誌 31:812-816, 2006.	子宮体部筋層への転移病巣から診断された両側乳 癌の1例	久米 真、 中村吉昭、 森本泰介、 山本雄造、	第一外科
Ann Thorac Surg	Intraoperative sentinel lymph node mapping using a new sterilizable magnetometer in patients with nonsmall cell lung cancer.	Minamiya Y, Ito M, Katayose Y, Saito H, Imai K, Sato Y, Ogawa J	第二外科
Ann Thorac Surg	Treating gastric tube cancer with distal gastrecto my preserving the gastroepiploic artery.	Motoyama S, Saito R, Okuyama M, Maruyama K, Ogawa J	第二外科
電気学会論文誌C	遠赤外線ヒータを用いた体表面の加熱プロセスによ る乳癌検査に関する研究	尹 鍾賢, 水戸 部一孝, 片寄 喜久, 小川純 一, 吉村 昇	第二外科
World Journal of Sur gery	Outcome and treatment strategy for Mid-and Lower- thoracic esophageal cancer recurring locally in the lymph nodes of the neck.	Motoyama S, Kitamura M, Saito R, Maruyama K, Okuyama M, Ogawa J	第二外科
胸部外科	腹直筋により横隔膜を再建した術後気管支断端瘻を 伴う横隔膜ヘルニア	南谷佳弘	第二外科

Akita J. Med.	乳癌患者におけるアイトープを用いたセンチネルリンパ節生検 Feasibility study の検討	片寄喜久, 鎌田収一, 粕山恵, 戸村則昭, 南條 博, 小川純一	第二外科
The Journal of Immunology	Tumor-Derived TGF β -1 Induces Dendritic Cell Apoptosis in the Sentinel Lymph Node.	Ito M, Minamiya Y, Kawai H, Saito S, Saito H, Nakagawa T, Imai K, Hirokawa M, Ogawa J	第二外科
Surg Today	Laparoscopic Long Esophagomyotomy with Dor's Fundoplication Using a Transhiatal Approach for an Epiphrenic Esophageal Diverticulum.	Motoyama S, Maruyama K, Okuyama M, Sasaki K, Sato Y, Ogawa J	第二外科
J Comput Assist Tomogr	Visualization of lymphatic basin from the tumor using magnetic resonance lymphography with superparamagnetic iron oxide in patients with thoracic esophageal cancer.	Ishiyama K, Motoyama S, Tomura N, Sashir, Imano H, Ogawa J, Narita K, Watarai J	第二外科
秋田医誌	センチネルリンパ節生検に基づく腋窩郭清を省略した乳癌縮小手術の有用性について	片寄喜久, 菅原 健, 伊藤亜樹, 佐々木靖博, 南條 博, 小川純一	第二外科
Ann Surg Oncol	REG I expression predicts long-term survival among locally advanced thoracic squamous cell esophageal cancer patients treated with neoadjuvant chemoradiotherapy followed by esophagectomy	Motoyama S, Sugiyama T, Ueno Y, Okamoto H, Takasawa S, Nanjo H, Watanabe H, Maruyama K, Okuyama M, Ogawa J	第二外科
Eur Surg Res	Extravascular lung water measured using single transpulmonary thermodilution reflects perioperative pulmonary edema induced by esophagectomy	Sato Y, Motoyama S, Maruyama K, Okuyama M, Hayashi K, Nakae H, Tajimi K,	第二外科

		Ogawa J	
J Clin Oncol	Prediction of breast tumor progression by integrity of free circulating DNA in serum	Umetani N, Giuliano AE, Hiramatsu SH, Amersi F, Nakagawa T, Martino S, Hoon DS	第二外科
Cancer Res	Proteomic Profiling of Primary Breast Cancer Predicts Axillary Lymph Node Metastasis	Nakagawa T, Huang SK, Martinez SR, Tran AN, Elashoff D, Ye X, Turner RR, Giuliano AE, Hoon DS	第二外科
Akita J. Med.	肺癌細胞による基底膜分解酵素—heparanase—の産生	三井匡史	第二外科 (現在;能代山本医師会病院外科)
Akita J. Med.	Hyaluronic acid promotes the expression of live-1 in IN VITRO model of lymphangiogenesis (リンパ管新生モデルにおけるヒアルロン酸の発現促進について)	Ota H, Katsube K, Ogawa J, Yanagishita M	第二外科 (現在;秋田組合総合病院外科)
Ann Thorac Surg	Surgical outcome of colon interposition by the posterior mediastinal route for thoracic esophageal cancer	Motoyama S, Kitamura M, Saito R, Maruyama K, Sato Y, Hayashi K, Saito H, Minamiya Y, Ogawa J	第二外科
Eur Surg Res (European Surgical Research)	Extravascular lung water measured using single transpulmonary thermodilution reflects perioperative pulmonary edema induced by esophagectomy.	Sato Y, Motoyama S, Maruyama K, Okuyama M, Hayashi K, Nakae H, Tajimi K, Ogawa J	第二外科

小計 6

ICUとCCU 30, 411-417	医療機器や設備に関する留意点 1) 人工呼吸器	山本浩史	心臓血管外科
ICUとCCU 30, 419-423	集中治療における安全管理, 医療機器や設備に関する留意点 2) 循環補助 (PCPS, IABP)	石橋和幸	心臓血管外科
Schmidek & Sweet Operative Neurosurgical Techniques 5th edition pp.1167-1176. 2006年発行	Intraoperative Endovascular Techniques in the Management of Intracranial Aneurysms.	Mizoi K, Kinouchi H	脳神経外科
Angiotensin Research3(4) 261-266. 2006年10月発行	酸化ストレスとRAS —脳— 脳梗塞急性期病態への関与.	菅原 卓	脳神経外科
J Neurooncol.,77 185-191. 2006年4月発行	¹²³ I-metaiodobenzylguanidine single-photon emission computerized tomography in brain tumors - a preliminary study.	Sasajima T 他	脳神経外科
Akita J.Med.,33 29-37. 2006年6月発行	N-methyl-d-aspartate receptor glycine-binding site antagonist, sm-31900 protects against delayed neuronal death and reduces neurogenesis.	Yamaguchi S 他	脳神経外科
J.Neurotrauma.,23 595-603. 2006年5月発行	Overexpression of SOD1 in transgenic rats attenuates nuclear translocation of endonuclease G and apoptosis after spinal cord injury.	Yu F, Sugawara T 他	脳神経外科
Brain Dev, 28, 663-667, 2006	TRH therapy in a patient with juvenile Alexander disease.	沢石由記夫 (3番目)	小児科学

Brain Res, 1095, 159-166, 2006	Intraventricular ascorbic acid administration decreases hypoxic-ischemic brain injury in new born rats.	三浦 忍 (1番目)	小児科学
Tohoku J Exp Med; 209, 263-267, 2006	Niemann-Pick Disease Type C: Cataplexy and Hypocretin in Cerebrospinal Fluid.	小山勝幸 (1番目)	小児科学
Tohoku J Exp Med, 209, 69-73, 2006	Pulse Methylprednisolone Therapy in Type 3 Adenovirus Pneumonia with Hypercytokinemia.	高橋郁子 (1番目)	小児科学
Tohoku J Exp Med, 208, 255-259, 2006	A PTPN11 Gene Mutation (Y63C) Causing Noonan Syndrome is Not Associated with Short Statuire in General Population.	高橋郁子 (1番目)	小児科学
J Biochem (Tokyo), 140, 193-200, 2006	Significant decrease in tropoelastin gene expression in fibroblasts from a Japanese Costello syndrome patient with impaired elastogenesis and enhanced proliferation.	高橋 勉 (2番目)	小児科学
J Med Invest, 53, 103-112, 2006	Elastogenesis in cultured dermal fibroblasts from patients with lysosomal beta-galactosidase, protective protein/cathepsin A and neuraminidase-1 deficiencies.	高橋 勉 (5番目)	小児科学
Jpn J Clin Oncol	Can we omit para-aorta lymph node dissection in endometrial cancer?	Tanaka h, Tanaka T (他6名)	産婦人科
Journal of Obstetrics and Gynaecology Research	Adenofibroma of the endometrium protruding into the vaginal cavity: findings on transvaginal ultrasonography, MRI and CT	Konishi Y, Tanaka T (他4名)	産婦人科

小計 8

Cranio. 2006;24(3):191-6.	A psychological study on patients with masticatory muscle disorder and sleep bruxism.	Takemura T, Et.al.	神経科精神科
Tohoku J Exp Med. 2006;209(3):263-7.	Niemann-Pick disease type C: cataplexy and hypocretin in cerebrospinal fluid.	Oyama K, Kanbayashi T, Et.al.	神経科精神科
Behav Brain Res. 2006;170(2):277-86.	Expression pattern of FOS in orexin neurons during sleep induced by an adenosine A2A receptor agonist.	Satoh S, Kanbayashi T, Et.al.	神経科精神科
Sleep. 2006;29(11):1439-43.	Narcolepsy without cataplexy: 2 subtypes based on CSF hypocretin-1/orexin-A findings.	Oka Y, Kanbayashi T, Et.al.	神経科精神科
Sleep Med. 2006;7(8):662.	Parkinson's disease comorbid with narcolepsy presenting low CSF hypocretin/orexin level.	Maeda T, Kanbayashi T, Et.al.	神経科精神科
J Neurol Sci. 2006;250(1-2):120-3.	CSF orexin levels of Parkinson's disease, dementia with Lewy bodies, progressive supranuclear palsy and corticobasal degeneration.	Yasui K, Kanbayashi T, Et.al.	神経科精神科
J Clin Psychiatry. 2006;67(10):1577-82.	Switching to olanzapine after unsuccessful treatment with risperidone during the first episode of schizophrenia: an open-label trial.	Takahashi H, Yoshida K, Et.al.	神経科精神科
J Psychopharmacol. 2006;	The G196A polymorphism of the brain-derived neurotrophic factor gene and the antidepressant effect of milnacipran and fluvoxamine.	Yoshida K, Et.al.	神経科精神科

小計 8

Prog Neuropsychopharmacol of Biol Psychiatry. 2006;30(6):1067-72.	Switching to risperidone after unsuccessful treatment of olanzapine in the first-episode schizophrenia: an open trial.	Takahashi H, Yoshida K, Et.al.	神経科精神科
Pharmacopsychiatry. 2006;39(3):114.	Dramatic remission of treatment-resistant depression after the cessation of tricyclic antidepressants.	Yoshida K, Et.al.	神経科精神科
Clin Neuropharmacol. 2006;29(1):6-9.	Response rate obtained using milnacipran depending on the severity of depression in the treatment of major depressive patients.	Sugawara Y, Yoshida K, Et.al.	神経科精神科
Narcolepsy and Hypersomnia 2006;287-316.	Symptomatic narcolepsy with cataplexy and without cataplexy or hypersomnia, with and without hypocretin (orexin) deficiency.	Kanbayashi T, Et.al.	神経科精神科
臨床脳波 2006;48(2)127-129	著明な入眠時ミオクローヌスを認めた6歳発症のナルコレプシー1女児例	橋本邦生, 神林崇, Et.al.	神経科精神科
精神薬療研究年報 2006;38:176-182	由来神経栄養因子(BDNF)遺伝子多型とセロトニン・ノルエピネフリン再取り込み阻害薬(SNRI)および選択的セロトニン再取り込み阻害薬(SSRI)の抗うつ効果との関連性	吉田契造, Et.al.	神経科精神科
臨床精神薬理, 2006;9(6)1211-1235	統合失調症に対する aripiprazole の長期安全性試験 青森・岩手・秋田地区多施設共同非盲検試験	菱川泰夫, Et.al.	神経科精神科
精神医学, 2006;48(9):993-995	Fluvoxamine の投与後アカシジアを呈し自殺企図に至った老年期うつ病の1症例	石川博康, Et.al.	神経科精神科

小計 8

脳と発達 2006;38(5):340-345	視床下部病変によりオレキシン神経障害を来した2次性過眠症8例の検討	神林崇, Et.al.	神経科精神科
Neuromodulation 9:234-8 (2006)	Electrical Stimulation using implantable R-F microstimulators to relieve pain associated with shoulder subluxation in chronic Hemiplegic stroke:a case report.	島田 洋一	整形外科
Tohoku J. Exp. Med., 209, 117-123 (2006)	Hybrid functional electrical stimulation with medial linkage knee-ankle-foot orthoses in complete paraplegics.	島田 洋一	整形外科
Akita J Med, 33:137-41 (2006)	Extreme lateral herniation of L5-S1 disc: characteristic 3-D CT findings.	島田 洋一	整形外科
J. Orthop. Sci., 11, 454-458 (2006)	Dural substitute with polyglycolic acid mesh and fibrin glue for dural repair:technical note and preliminary results.	島田 洋一	整形外科
J. Bone Miner Metab., 24, 491-497	Effects of alfacalcidol alone or in combination with elcatonin on incidence of osteoporotic vertebral fractures in postmenopausal women with spondylosis.	宮腰 尚久	整形外科
Neurol. Med. Chir (Tokyo), 46, 556-558	Ligamentum flavum hematoma in the cervical spine-case report.	宮腰 尚久	整形外科
Neurol India55: 64-66	Intraosseous malignant peripheral nerve sheath tumor with focal epithelioid differentiation of the thoracic spine.	宮腰 尚久	整形外科

Ther Drug Monit. 2007; 29(3):299-304.	Influence of UGT1A7 and UGT1A9 Intronic I399 Genetic Polymorphisms on Mycophenolic Acid Pharmacokinetics in Japanese Renal Transplant Recipients.	Inoue K, Miura M, Satoh S, Kagaya H, Saito M, Habuchi T, Suzuki T.	泌尿器科
Int J Clin Oncol. 2007;12(2):131-6.	Lymphatic invasion is a prognostic factor for bladder cancer treated with radical cystectomy.	Horikawa Y, Kumazawa T, Narita S, Inoue T, Yuasa T, Matsuura S, Nanjo H, Satoh S, Tsuchiya N, Habuchi T.	泌尿器科
Biopharm Drug Dispos. 2007;28(4):167-175	Influence of rabeprazole and lansoprazole on the pharmacokinetics of tacrolimus in relation to CYP2C19, CYP3A5 and MDR1 polymorphisms in renal transplant recipients.	Miura M, Inoue K, Kagaya H, Satoh S, Tada H, Sagae Y, Habuchi T, Suzuki T	泌尿器科
Clin Drug Investig. 2007;27:251-8	Influence of Cytochrome P450 (CYP) 3A5 Polymorphisms on the Pharmacokinetics of Lansoprazole Enantiomers in CYP2C19 Extensive Metabolizer Renal Transplant Recipients.	Miura M, Inoue K, Satoh S, Itoh Y, Kagaya H, Tada H, Tanaka Y, Habuchi T, Suzuki T.	泌尿器科
Oncol Rep. 2007;17(4):761-7	Low concentrations of the histone deacetylase inhibitor, depsipeptide, enhance the effects of gemcitabine and docetaxel in hormone refractory prostate cancer cells	Kanzaki M, Kakinuma H, Kumazawa T, Inoue T, Saito M, Narita S, Yuasa T, Tsuchiya N, Habuchi T	泌尿器科

小計 5

Experimental Eye Res 83(7):1-9,2006.	1. Existence of small slow- cycling Langerhans cells in the limbal basal epithelium that express ABCG2.	Chen W , H ara K , Bu J , Zhao K , Yoshitomi T	眼科
Exp Eye Res83:1317-1 324,2006.	Pharmacological vascular reactivity in isolated diabetic rabbit ciliary artery.	2. Goseki T, Ishikawa H, Nishimoto H, Mashimo K, Uga S, <u>Yoshitomi</u> T, Shimizu K	眼科
Jpn J Oph50:504-508,2006.	Effect and mechanisms of Betaxolol and Timolol on Vascular Relaxation in Isolated Rabbit Ciliary Artery.	3. Dong Y, Ishikawa H, Wu Y , Shimizu K, Goseki T, <u>Yoshitomi</u> T	眼科
あたらしい眼科23:661 -664 , 2006.	緑内障患者における瞳孔視野測定の有用性 .	浅川賢 , 庄 司信行 , 田 中館明博 , 石川均 , 吉 富健志	眼科
臨床眼科60:757-800, 2006.	虹彩隅角新生血管を伴う増殖糖尿病網膜症に対する 手術成績.	早川宏一, 増山千佳子 , 昆野清輝 , 山木邦比 古 , 吉富健 志	眼科
臨床眼科:955-958,20 06.	眼サルコイドーシスにおいて網膜裂孔を生じた1例.	澤田有, 高 橋永幸 , 山 木邦比古 , 吉富健志.	眼科
日本眼科紀要 57 : 124-127,2006.	球結膜に発生した形質細胞腫の一例 ,	池上正人 , 今井康雄 , 亀谷修平 , 山木邦比古 , 吉富健志 , 南條博	眼科

小計 7

Am. J. Otolaryngol., 27, 64-67	Giant cell tumor at the lateral skull base.	○王 えん、 本田耕平、 鈴木真輔、 石川和夫	耳鼻咽喉科
Auris. Nasus. Larynx., 33, 251-257	Analysis of 95 case of squamous cell carcinoma of the external and middle ear.	○殷 敏、 石川和夫、 本田耕平他	耳鼻咽喉科
Otolaryngol. Head Neck Surg., 134, 204-209	Evaluation of type 3 portable monitoring in unattended home setting for suspected sleep apnea: factors that may affect its accuracy.	○殷敏 宮崎総一郎、 石川和夫	耳鼻咽喉科
Auris. Nasus. Larynx., 33, 337-341	Sweat duct carcinoma of lip with multiple cervical lymphnodes metastasis.	○郎 軍添、 鈴木真輔、 本田耕平、 藤吉達也、 石川和夫	耳鼻咽喉科
Equilibrium Res., 65, 84-90	高齢者のめまいとQOL.	○石川和夫	耳鼻咽喉科
Facial N. Res. Jpn., 26, 149-151	拡大耳下腺全摘における顔面神経再建の検討.	○ウオンウ エンホウ、 木村洋元、 本田耕平、 石川和夫	耳鼻咽喉科
日気食会報57 (5), 439-445	輪状甲状靭帯穿刺によって生じた声門下狭窄症の1例.	○鈴木真輔、 藤田達也、 池上謙次、 石川和夫	耳鼻咽喉科
Ann. Nucl. Med. 20, 107-114 2006	Comparison of 201-Tl-chloride SPECT with 99m-Tc-MIBI SPECT in the depiction of malignant head and neck tumors	Tomura, N. et al	放射線科 放射線部

小計 8

J. Comput. Assist. Tomogr. 30, 496-500 2006	Diffusion changes in a tumor and peritumoral tissue after stereotactic irradiation for brain tumors: possible prediction of treatment response.	Tomura, N. et al	放射線科 放射線部
J. Comput. Assist. Tomogr. 30, 270-275 2006	Visualization of lymphatic basin from the tumor using magnetic resonance lymphography with supermagnetic iron oxide in patients with thoracic esophageal cancer.	Ishiyama, K. et al	放射線科 放射線部
Clin. Radiol. 61, 883-887. 2006	Air trapping on computed tomography images of healthy individuals: effects of respiration and body mass index.	Hashimoto, M. et al	放射線部 放射線科
Clin. Radiol. 61, 505-512. 2006	Postoperative three-dimensional CT Angiography after cerebral aneurysm clipping with titanium clips: detection with single detector CT. comparison with intra-arterial digital subtraction angiography.	Sakuma, I. et al	放射線部 放射線科
Biochemical and Biophysical Research Communications, 342, 718 - 724. 2006.	Phenotype properties of a novel spontaneously immortalized odontoblast-lineage cell line.	Arany, S. et al.	歯科口腔外科
The Journal of Craniomandibular Practice 24, 191-196.2006.	A psychological study on patients with masticatory muscle disorder and sleep bruxism.	Takemura, T. et al.	歯科口腔外科
日本口腔外科学会雑誌 52, 592 - 594, 2006.	頰部に生じた孤立性神経線維腫の1例.	永井宏和 他	歯科口腔外科
日本歯科技工学会雑誌 27, 115 - 120, 2006.	硫酸カリウム水溶液による急速加熱型クリストバライト埋没材の鑄型放置時間の短縮—クラウン適合精度, 硬化膨張, 過熱膨張におよぼす影響—	成田王彦 他	歯科口腔外科

小計 8

Osteoarthritis and Cartilage, 15, 291-299. 2007.	Induction of osteoclast-like cells derived from the synovial lavage fluids of patients with temporomandibular joint disorders.	Takano, H. et al.	歯科口腔外科
Oral Surgery, Oral Medicine, Oral Pathology, Oral Radiology, and Endodontology, 103, 260 – 266. 2007.	Visualization of anterior disc displacement in temporomandibular disorders on contrast-enhanced magnetic resonance imaging: comparison with T2-weighted, proton density-weighted, and precontrast T1-weighted imaging.	Tomura, N. et al.	歯科口腔外科
Allergy 62:415-422, 2007	Hepatocyte growth factor attenuates eotaxin and PGD ₂ -induced chemotaxis of human eosinophils.	Ito W, et al	中央検査部
Tohoku J Exp Med 211:127-132, 2007	Multiple clinical presentations of anal ultrashort waves and high anal pressure : megacolon, hemorrhoids and constipation.	Yoshino H, et al	中央検査部
Int Arch Allergy Immunol. 141:300-307, 2006.	Prostaglandin D ₂ Induces IL-8 and GM-CSF by Bronchial Epithelial Cells in a CRTH2-Independent Pathway.	Chiba T, et al	中央検査部
Allergy International 55:253-259, 2006	RANTES production from mononuclear cells in response to the specific allergen in asthma patients.	Oyamada H, et al	中央検査部
Int Arch Allergy Immunol. 140 S1:35-41, 2006	Procaterol upregulates peroxisome proliferator-activated receptor-gamma expression in human eosinophils	Ueki S, et al	中央検査部
In Arch Allergy Immunol 140(S1):28-34, 2006	The role of Platelet-Derived Growth Factor in Eotaxin Signaling of Eosinophils.	Adachi T, et al	中央検査部

Pharmacology. 77:3 3-37, 2006.	Theophylline and dexamethasone induce peroxisome proliferator-activated receptor-gamma expression in human eosinophils.	Usami A,etal	中央検査部
Ther Apher Dial	The dose of nafamostat mesilate during plasma exchange with continuous hemodiafiltration in the series-parallel circuit.	Nakae H	救急部
Ther Apher Dial.	Combining continuous endotoxin apheresis and continuous hemodiafiltration in the treatment of patients with septic multiple organ dysfunction syndrome.	Yonekawa C	救急部
医薬の門	劇症肝炎に対してPlasma Diafiltrationを施行した2例.	中永士師明	救急部
日本アフェレシス学会雑誌 25、 197-203,2006	歯科口腔外科領域における自己多血小板血漿ゲルの応用	面川 進	輸血部
自己血輸血19、12-17 ,2006	自己血輸血ガイドライン改訂と自己血輸血推進	面川 進	輸血部
自己血輸血19、34-39 ,2006	献血状況—特にドナーフェレシスについて—	面川 進	輸血部
自己血輸血19、207-2 16,2006	日本自己血輸血学会・貯血式自己血輸血実施基準(2007)作成に当って	面川 進	輸血部

小計 8

日本輸血細胞治療学会誌52、711-716,2006	全国国立大学附属病院における輸血副作用調査体制－輸血副作用の原因製剤回収・保管についての調査報告－	能登谷武	輸血部
情報処理 48(4) 338-343 2007	医療情報システムとICタグの活用	近藤克幸	医療情報部
Experimental Molecular Pathology, 80:38-45, 2006	Intermittent short-duration exposure to low wall shear stress induces intimal thickening in arteries exposed to chronic high shear stress.	Nanjo H., Masuda H.	病理部
Annals Surgical Oncology, 13:1724-1731, 2006	EG I expression predicts long-term survival among locally advanced thoracic squamous cell esophageal cancer patients treated with neoadjuvant chemoradiotherapy followed by esophagectomy.	Motoyama S., Nanjo H.	呼吸器外科, 病理部
Urology, 68:972-975, 2006	Radical nephroureterectomy as initial treatment for carcinoma in situ of upper urinary tract.	Yuasa T., Nanjo H.	泌尿器科, 病理部
Surgical Today, 36:827-830, 2006	Long-term survival after salvage resection of recurrent esophageal cancer with anterior mediastinal lymph node involvement: report of a case.	Motoyama S., Nanjo H.	呼吸器外科, 病理部
Nephrology Dialysis Transplantation, 21:1727-1728, 2006	External iliac pseudoaneurysm ruptured into non-functioning intrarenal allograft abscessed mass.	Inoue T., Nanjo H.	泌尿器科, 病理部
Tohoku Journal of Experimental Medicine, 209:379-382, 2006	Split notochord syndrome: ileal duplication causing intermittent episodes of vomiting.	Tsuchida S., Nanjo H.	小児科, 病理部

小計 8

Blood 107, 1366-1374, 2006	Phagocytosis of co-developing megakaryocytic progenitors by dendritic cells in culture with thrombopoietin and tumor necrosis factor- α and its possible role in hemophagocytic syndrome.	Saito K, <u>Hirokawa M</u> , Inaba K, Fukaya H, Kawabata Y, Komatsuda A, Yamashita J, Sawada K	腫瘍センタ ー
International Journal of Hematology 83, 156-158, 2006	Successful reduced-intensity hematopoietic stem cell transplantation in myelodysplastic syndrome with severe coronary artery disease.	Kosugi S, <u>Hirokawa M</u> , Kawabata Y, Hasegawa H, Yoshioka T, Miura I, and Sawada K.	腫瘍センタ ー
International Journal of Hematology 83, 181-182, 2006	Vaginal outflow tract obstruction associated with chronic graft-versus-host disease following allogeneic peripheral blood stem cell transplantation.	Hirokawa M, Sato H, Kawabata Y, Sawada K.	腫瘍センタ ー
Journal of Immunology 176, 5637-5643, 2006	Tumor-derived TGF β -1 induces dendritic cell apoptosis in the sentinel lymph node.	Ito M, Minamiya Y, Kawai H, Saito S, Saito H, Nakagawa T, Imai K, <u>Hirokawa M</u> , Ogawa J	腫瘍センタ ー
Tohoku Journal of Experimental Medicine 209, 61-67, 2006	Successful Autologous Peripheral Blood Stem Cell Transplantation Using Thiotepa in a Patient with Systemic Sclerosis and Cardiac Involvement.	Komatsuda A, Kawabata Y, Horiuchi T, Motegi M, Ozawa M, Fujishima N, Kume M,	腫瘍センタ ー

		<u>Hirokawa</u> M, Wakui H, Yamaguchi A and Sawada K	
Bone Marrow Transplantation, 38, 387-388, 2006	Laryngeal stenosis associated with chronic graft-versus-host disease following unrelated bone marrow transplantation.	<u>Hirokawa</u> M, Kume M, Wu T, Ishikawa K, Sawada K.	腫瘍センタ ー
International Journal of Hematology, 84, 445-448, 2006	Late-onset fatal Epstein-Barr virus-associated hemophagocytic syndrome following cord blood cell transplantation for adult acute lymphoblastic leukemia.	Kawabata Y, <u>Hirokawa</u> M, Saitoh Y, Kosugi S, Yoshioka T, Fujishima M, Fujishima N, Kameoka Y, Saitoh H, Kume M, Takahashi N, Sawada K	腫瘍センタ ー
Haematologica 91, ECR47, 2006	Oligoclonal T cell expansion in blood but not in the thymus from a patient with thymoma-associated pure red cell aplasia.	Fujishima N, <u>Hirokawa</u> M, Fujishima M, Wada C, Toyoshima I, Watanabe S, Sawada K	腫瘍センタ ー
Internal Medicine 45, 963-966, 2006	Adrenal insufficiency complicated with antiphospholipid syndrome (APS).	Fujishima N, Komatsuda A, Ohyagi H, Fujishima M, Tada M, Ohtani H,	腫瘍センタ ー

		Wakui H, <u>Hirokawa</u> M, Sawada K	
Annals of Thoracic Surgery, 81, 327-330, 2006	(2006) Intraoperative sentinel lymph node mapping using a new sterilizable magnetometer in patients with nonsmall cell lung cancer.	Minamiya Y, Ito M, <u>Katayose</u> Y, Saito H, Imai K, Sato Y, Ogawa J	腫瘍センター
臨床血液 47, 770-776, 2006	テトラソミー8を認めた急性単球性白血病	亀岡淳一、堀内高広、宮村耕一、三浦偉久男、奥田光崇、野村順、 <u>廣川 誠</u> 、澤田賢一、佐々木毅	腫瘍センター
最新医学 61: 368-374, 2006	慢性赤芽球癆	<u>廣川 誠</u> 澤田賢一	腫瘍センター
臨床血液 47; 316-330, 2006	赤芽球癆診療の参照ガイド	澤田賢一、浦部晶夫、中尾眞二、別所正美、唐沢正光、石田陽治、小松則夫、増田道彦、 <u>廣川 誠</u> 、茂木睦仁、小峰光博	腫瘍センター
Akita Journal of Medicine, 33, 21-28, 2006	乳癌患者におけるアイソトープを用いたセンチネルリンパ節生検 Feasibility study の検討	片寄喜久、鎌田収一、 <u>初山 恵</u> 、戸村則昭、南條博、小川純一	腫瘍センター
電気学会論文誌C, 126, 306-31, 2006	遠赤外線ヒータを用いた体表面の加熱プロセスによる乳癌検査に関する研究	尹 鍾賢、水戸部一孝、 <u>片寄喜久</u> 、小川純一、吉村昇	腫瘍センター

秋田県医師会雑誌, 5 7, 17-22, 2006	センチネルリンパ節生検に基づく腋窩郭清を省略した 乳癌縮小手術の有用性について	片寄喜久, 菅原 健, 伊 藤亜樹, 佐 々木靖博, 南條 博, 小 川純一	腫瘍センタ ー
<i>Br J Clin Pharmacol</i> 61, 315-320 (2006)	Enantioselective disposition of rabeprazole in relation to CYP2C19 genotypes.,	Miura M. Kagaya H. Tada H. I. Suzuki T.	薬剤部
<i>Eur J Clin Pharmacol</i> 62, 113-117 (2006)	Stereoselective metabolism of rabeprazole-thioether to rabeprazole by human liver microsomes.	Miura M. Sato S. Tada H. Habuchi T. Suzuki T.	薬剤部 泌尿器科
<i>J Pharm Biomed Anal</i> 41, 565-570 (2006)	Determination of rabeprazole enantiomers and their metabolites by high-performance liquid chromatography with solid-phase extraction.	Miura M. Tada H. Sato S. Habuchi T. Suzuki T.	薬剤部 泌尿器科
<i>Xenobiotica</i> 36, 95-102 (2006)	Intestinal CYP3A4 is not involved in the enantioselective disposition of lansoprazole.	Miura M. Kagaya H. Tada H. Suzuki T.	薬剤部
<i>Transplantation</i> 82, 486-493 (2006)	Circadian Pharmacokinetics of Mycophenolic Acid and Implication of Genetic Polymorphisms for Early Clinical Events in Renal Transplant Recipients.	Sato S. Tada H. Miura M. Suzuki T. Habuchi T.	薬剤部 泌尿器科
<i>Int J Clin Pharmacol Ther</i> 44, 605-613 (2006)	Influence of ABCB1 C3435T polymorphism on the pharmacokinetics of lansoprazole and gastroesophageal symptoms in Japanese renal transplant recipients classified as CYP2C19 extensive metabolizers and treated with tacrolimus.	Miura M. Sato S. Kagaya H. Habuchi T. Suzuki T.	薬剤部 泌尿器科
<i>Analytical letters</i> 39, 2405 - 2415 (2006)	Simultaneous determination of fluvoxamine and its m etabolites in human liver microsomes by high-perfor mance liquid chromatography with solid-phase extract ion.	Miura M.	薬剤部

小計 8

<i>Yakugaku Zasshi</i> 126 , 395-402 (2006)	Enantioselective disposition of lansoprazole and rabeprazole in human plasma.	Miura M.	薬剤部
<i>Yakugaku Zasshi</i> 126 , 1357-1362 (2006)	Quantification and 24-hour Monitoring of Mycophenolic Acid by High-Performance Liquid Chromatography in Japanese Renal Transplant Recipients.	Kagaya H. Inoue K. Miura M. Suzuki T.	薬剤部

小計 2

合計 170

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文とし申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること（当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る）。

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病 院 長 溝 井 和 夫			
管理担当者氏名	総務課長 小澤 浩	医事課長 佐藤 悟	薬剤部長 鈴木敏夫	
	保 管 場 所	分 類 方 法		
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約	医 事 課 (病 歴 室)	1患者1カルテ方式によりカルテを作成し、入院・外来とも原則として20年間保存管理している。		
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業員数を明らかにする帳簿	総 務 課		
	高度の医療の提供の実績	医 事 課		
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	医 事 課		
	高度の医療の研修の実績	総 務 課		
	閲覧実績	総 務 課		
	紹介患者に対する医療提供の実績	医 事 課		
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医 事 課 薬 剤 部		
	規則第9条の23及び第11条各号に掲げる体制確保の状況	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況		医療サ-収室
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況		医 事 課
		医療に係る安全管理を行う部門の設置状況		医療サ-収室
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況		医療サ-収室
医療に係る安全管理のための指針の整備状況		医療サ-収室		
医療に係る安全管理のための委員会の開催状況		医療サ-収室		
医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況		総 務 課 看 護 部 医療サ-収室		
医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況		医療サ-収室		

(様式第13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	病院長 溝井和夫
閲覧担当者氏名	総務課長 小澤 浩
閲覧の求めに応じる場所	管理棟会議室

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数		延 0 件
閲覧者別	医師	延 0 件
	歯科医師	延 0 件
	国	延 0 件
	地方公共団体	延 0 件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	68.8 %	算定期間	平成 18年 4月 1日～平成 19年 3月 31日
算出根拠	A:紹介患者の数	7,270 人	
	B:他の病院又は診療所に紹介した患者の数	6,133 人	
	C:救急用自動車によって搬入された患者の数	662 人	
	D:初診の患者の数	14,311 人	

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
2 A、B、C、Dは、それぞれの延べ数を記入すること。

規則9条の23及び第11条各号に掲げる体制の確保状況

① 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有(3名)・無
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有(3名)・無
③ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有・無
<ul style="list-style-type: none"> ・所属職員： 専任(3)名 兼任(15)名 ・活動の主な内容 <ul style="list-style-type: none"> (1) 医療安全管理委員会で用いられる資料及び議事要旨の作成並びに保存その他委員会の庶務に関すること。 (2) インシデントに関する診療録や看護記録等への記載が正確かつ十分になされていることの確認を行うとともに、必要な指導を行うこと。 (3) 患者や家族への説明など事故発生時の対応状況について確認を行うとともに、必要な指導を行うこと。 (4) インシデントの原因究明が適切に実施されていることを確認するとともに、必要な指導を行うこと。 (5) インシデント報告の調査・分析及び改善策の立案に関すること。 (6) インシデント報告の判定に関すること。 (7) 医療安全管理委員会で策定された改善策の実施状況調査に関すること。 (8) 医療の安全管理に関する指導方法に関すること。 (9) 医療の安全管理のための職員研修の実施に関すること。 (10) 医療事故等防止対策マニュアル及び各種マニュアルの作成・改定作業に関すること。 (11) 医療の安全に係る連絡調整に関すること。 (12) その他医療安全対策の推進に関すること。 	
④ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	有・無
⑤ 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
<ul style="list-style-type: none"> ・指針の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> (1) 安全管理に関する基本的な考え方 (2) 安全管理のための委員会、組織に関する基本事項 (3) 安全管理のための職員研修に関する基本方針 (4) 改善の方策に関する基本方針 (5) 医療事故等発生時の対応に関する基本方針 (6) 指針の閲覧に関する基本方針 (7) その他医療安全の推進のために必要な基本方針 	
⑥ 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年13回
<ul style="list-style-type: none"> ・活動の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> (1) 医療に係る安全管理のための指針に関すること。 (2) 医療に係る安全管理の体制に関すること。 (3) 医療事故等防止対策マニュアルに関すること。 (4) 医療の安全管理のための職員研修に関すること。 (5) インシデントに関する調査・分析、改善策の策定・実施及び職員への周知に関すること。 (6) 医療事故の判定及び認定に関すること。 (7) 策定された改善策の評価及び見直しに関すること。 	

- (8) 医療事故及び医事紛争の対応策に関すること。
- (9) その他医療の安全管理に関し必要なこと。

⑦ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況

年 6回

・ 研修の主な内容：

医療の安全管理に関する研修会（平成18年 8月 3日開催）

- ・ 安全な医療を提供するために ～患者の視点に立っていますか？～

医療の安全管理に関する研修会（平成18年10月12日開催）

- ・ AHA救急蘇生のガイドライン2005の解説と実技（一次救命処置）

医療の安全管理に関する研修会（平成18年10月27日、平成19年 1月24日、 1月27日開催）

- ・ 講演会 JALのサービスとホスピタリティ

医療の安全管理に関する研修会（平成18年11月 2日開催）

- ・ 講演会 病院の質を改善する取り組み ～坂総合病院編～

医療の安全管理に関する研修会（平成18年11月21日、平成19年 1月18日、 1月21日開催）

- ・ 医療の安全と質が問われる診療録・看護記録とは？

医療の安全管理に関する研修会（平成18年12月 5日開催）

- ・ 講演会 ヒューマンエラーのメカニズムと対策

⑧ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況

- ・ 医療機関内における事故報告等の整備 （有） ・ 無 ）

- ・ その他の改善のための方策の主な内容：

インシデント発生部署から報告された事例の改善案を基に、医療安全管理室において改善策の立案を行う。

その後、医療安全管理委員会において、改善策の評価及び見直しについて審議決定する。

医療事故又は医療事故が疑われる事例に関しては、医療安全管理委員会において、改善策の策定、評価及び見直しについて審議決定する。

以下について策定し職員に周知させた。

- ① 麻薬静脈内持続注入の標準化について
- ② 薬剤調整の準備時におけるダブルチェックの統一
- ③ インスリン等指示伝達ファイルの使用及びインスリン指示書の変更
- ④ 複数の外来患者に対する臨時注射払い出し方法の統一
- ⑤ 医療事故等防止対策マニュアル及び医療事故・インシデント発生時対応ポケットマニュアルの改訂